

令和5年度府中市立府中第一中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ①自分の考えを積極的に発言する。
- ②学習する習慣を身に付ける。
- ③自分の学習方法を工夫する。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①主体的な学びの場や協働的な学習活動を単元計画に基づき効果的に導入する。
- ②各学習におけるねらいを明確にし、それを達成するための学習活動を効果的に展開し、適正な評価活動を行う。
- ③単元や授業のねらいの達成のために各授業でのICT機器を有効に活用する。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

基礎的・基本的な内容のみならず、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決しようとする。

(2) 目指す授業像

全ての教科で、単元のねらいの明確化、毎回の授業における学習目標や学習の流れの提示、振り返りの学習場面の設定やICTを有効に活用した授業を展開する。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	・主体的な学びにつなげるために、単元の最初に目標設定と見直しをもたせ、単元の終わりには振り返りと単元で身についた力を考えさせる。深い学びにつなげるために、個人で考えた後にグループで話し合う時間を設け、再度個人で思考する課題を設定し、自分の考えの幅を広げ、深められるようにする。	美術	・知識・技能の観点については、机間指導に加え、用具の扱い方を、ICT機器を活用しながら具体的に説明するなどして、丁寧に制作できるよう支援する。
数学	・既習事項の定着と、生徒が主体的に考えられるような探求活動を取り入れ、学力の向上を図る。	技術	・単元を通じた学習内容を生活に結び付けるとともに、工具に使い方等については、ICT機器を活用しながら、見直しを持って活動ができるよう支援する。
社会	・単元をつらぬく学習課題の設定を基本とし、資料の読み取り、自分の考えを言葉にして相手に伝えるなど、課題解決に向けた探究活動を積極的に取り入れていく。	家庭	・学習の内容を実生活に結び付けられる課題を設定し、思考ツールを利用し考えたことを段階的に書くことで文章化させるような指導を行う。
理科	・単元の見直しをもたせる学習活動と、各時の授業後に自分の分からないところやできないところを振り返らせる指導を充実させる。	保健体育	・運動に対して苦手意識のある生徒も多いため、主体的に学習できるように、自己の課題にじっくりと取り組める時間の確保や、グループやペア学習により様々な楽しさを見出せるようにしていく。
音楽	・集団での活動では、課題を明確にして、目標をもって活動できるよう指導助言する。生徒同士の意見を出し合いながら、探求的に学習する指導を充実させる。	外国語	・基礎的な学習内容を定着させるため、復習や学び直しに結びつくように繰り返し指導する場面を増やす。また、これまで身につけてきた基礎的な内容をもとに、より多くの英語使用場面に触れて理解を深め、表現できる内容を増やしていきけるようにする。

(2) 生徒用タブレット端末の活用【市共通】

実験や単元のまとめ、思考ツールとして授業内で活用する。

校内研修や研究授業後の協議会などで授業を振り返り、タブレット端末を活用した授業の改善・充実を図る。